

宝塚ちどりでは、医務室とユニットが連携して、看取り介護を行っています。その取り組みについて、ご紹介します。

医務室 福岡 久美江

★看取り介護について

平成十八年、宝塚ちどりは介護保険制度改正を受けて「看取り介護に関する指針」を作成し、それに基づいて看取り介護をしています。

看取り介護とは、回復の見込みがないと医師より判断される方に対し、身体的・精神的苦痛をできるだけ緩和し、死に至るまでの時間を有意義に、かつご本人が納得して生活できるように援助し、長年過ごした親しい場所で親しい人に見守られながら自然な死を迎えることです。



八月末時点で、三十三名の方が「看取り介護」を希望されています。

★看取り介護の取り組み

医師より医学的知見から判断して回復の見込みがないと判断されたご利用者、または、それにもない医療機関での対応の必要性が薄いと判断されたご利用者に対して、医務室からご家族に連絡を取り、日時を決めて、医師よりご利用者・ご家族への説明を行います。

説明を受けた後、病院で延命治療を受けるか、施設での看取りを希望されるかをご親族が話し合い、意志統一を図っていただきます。

医療機関との連携を選択された場合、入院に向けて支援いたします。

施設での看取りを選択された場合、ご利用者が尊厳を持つひとりの人間として、安らかな死を迎えることができるよう、ご利用者・ご家族の支えとなり、身体的・精神的な支援に努めます。

★看取り介護の具体的な支援内容 ① 環境整備

ご家族が気兼ねなく付き添い、ご本人との時間を過ごせるように、配慮し、最期の時を安楽にゆつたりと迎えるための環境整備をします。

② 栄養・食事

食事・水分摂取量の確認を行い、食事形態にも配慮します。

③ 清潔

常に清潔を保てるよう、負担がかからない程度に入浴、清拭、足浴などを行います。

④ 排泄

尿量・排便量を確認し、状態により腹部マッサージや下剤の服用、浣腸などを行います。

⑤ 疼痛緩和

安楽な体位を工夫したり、体位交換やマッサージをします。

⑥ 精神的支援

ご本人の不安や苦痛を取り除く



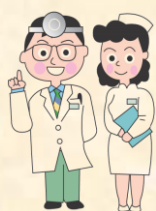
ため、声かけやスキップを十分にとり、寄り添うことを重視します。

⑦ ご家族への継続的な支援

時間経過や症状変化に伴い、ご本人、ご家族の思いが揺れ動いた場合にも、いつでも思いを伝えられるように、常にコミュニケーションをとるよう努めます。

⑧ 医療的支援

医師の指示に基づき、必要な点滴や酸素吸入等の処置を看護師が行います。ご家族の不安をできるだけ少なくするため、身体機能の低下のプロセスなどを分かりやすく説明します。



*看取り介護に関してお聞きになりたいことがございましたら、医務室までお気軽にお尋ね下さい。

◆委員会報告

事故防止委員会

今月から、ショートステイサービスの質の向上を目指して、各ユニットに、施設内のデータを配布することになりました。これは、施設からお帰りになる際の忘れ物や、ご利用者の危険につながりかねない事例を具体的にご紹介しています。同じ間違いを繰り返さないよう、事故防止委員会が中心となって、職員への周知に努めていきます。(伊波)

サービス向上委員会

以前からご案内していた通り、九月一日からグラッドグッド報告書を、本格的に導入しました。職員の「良い部分」「意外な一面」を積極的に認め合い、他の職員にもつなげていくことで、サービスの質を高め、職員のモチベーションアップに繋がっていきます。



また、各ユニットでご利用者に合った適正なパットが使用されているか確認しました。今回は現状を把握するのみでしたが、今後もユニットと協力して、ご利用

者が快適に過ごせるように使用パットの適正化を推進していきたいと思えます。(徳永)

給食委員会

今回、初の試みで、ユニット対抗「盛り付けコンテスト」を開催しました。お題は「ハンバーグランチ」。盛り付けのちょっとしたアイデアと工夫でこれほど印象が変わるとは驚きです。どのユニットも甲乙つけがたい素敵なランチに仕上がりました。投票に参加して下さいました。(仲田)

[グランプリ]桜台ユニット



[2位]ふじヶ丘ユニット



[3位]逆瀬川ユニット



研修委員会

八月四日、食事介助の研修に約三十名の職員が参加しました。まず、山本言語聴覚士が以下の講義をしました。

① 口腔内の仕組み、咀嚼・嚥下のメカニズム

② 正しい食事姿勢のポイント

③ 食事介助のポイントと留意点等

その後、仲田管理栄養士が牛乳とお茶のトロミのつけ方・つき方の違いを実演しました。

トロミのついたものを実際に口にするのは、今回が初めてという職員も多く、実際に食感や飲み心地を試すよい経験になりました。

また、一口量の確認や、職員同士で食事介助を行いました。

新たな学びも多く、有意義な研修になりました。

(藤田訓・藤田昌)



感染症委員会

感染症委員会では、湿気の多い季節に流行する水虫について予防と対策

を話し合いました。水虫を防ぐためには、部屋と履物を清潔に、そして風通しよく保つことが必要です。また、タオルやスポンジで患部を洗うときには、できるだけ優しく洗うようにすることが大切です。

今後、感染症委員会では、秋冬に注意しておきたい感染症のポスターを作成し、予防を呼びかけていきます。

(目加田)

地域交流委員会

新しく地域交流委員長に就任した安藤健人(けんと)と申します。まだまだ分からないこともありますが、宜しくお願いします。

今回の会議は、十一月に開催予定の介護技術講習会の検討と、ご利用者の外出促進のための「買い物レクリエーション」について話し合いました。

前回の反省点をいかし、今回は実技を中心にしたわかりやすい介護技術の講習を行います。詳細は決まり次第、ポスター等でご報告します。「買

い物レクリエーション」は九月末、近隣のスーパー(イズミヤ)まで外出し、ご利用者に好きなものを買っていただく予定です。(安藤)

◆ユニット報告

グループホーム

グループホームでは八月七日と八月二十二日に宝塚ホテルまで外食に出かけました。

好きなものを好きなだけ食べられるバイキング形式のレストランで、いつもは食の細いご利用者も、お代わりされ、普段よりよく召し上がっていました。帰りの車内でも「美味しかったです」と楽しい話題に花が咲きました。(安藤)



桜台・雲雀丘ユニット

八月十三日(火)、「出張リクエストおやつ」で大学芋を作りました。ご利用者の目の前で厨房の職員が大学芋を手慣れた様子で完成させていくのは、見ているだけで楽しかったです。できたての大学芋はホクホクで柔らかく、皆さんおいしそうに召し



上がられ、おかわりをされています。

今後はユニットでも、ご利用者に喜んでいただけるようなおやつレクを企画してまいります。(村田)

ふじが丘・すみれが丘ユニット

当ユニットでは、「出張リクエストおやつ」で、厨房の職員が、揚げ煎餅を作りました。味は甘辛しようにゆ・ごま・塩の三種類！いつも食べているお煎餅も、目の前で



揚げているのを見るのは、とても新鮮。煎餅を揚げると、フロアいっぱいには醤油のこうばしい香りが漂い、「早く食べたい！ここに持って来て」と待ちきれずに手をあげておられる方もいらっしゃいました。できたてアツアツのお煎餅を「美味しいわ」「もっと食べたいわ」と言いながら笑顔で次々と頬張っておられる様子を見て、私たち職員もとても嬉しい気分になりました。(目加田)



◆敬老祝賀会を開催

九月十五日(日)、「敬老祝賀会」を開催しました。今年度は、長寿・白寿・米寿・喜寿と十三名の方をお祝いさせていただきました。中川智子市長もご来賓として出席、心のもったご挨拶をいただきました。ま

た、「未成ジュニアウィンズ」様・「さくら会」様が、楽器の演奏でお祝いに華を添えてくださいました。懐かしいメロディに思わず、歌い出される方もいらっしゃいました。(酒井)



編集後記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋など、いろんな秋がありますが、皆様はどのような秋をお過ごしでしょうか？

秋はあつと言う間ですので、あれもやっておけばよかったと言うことがないように、色々なことに挑戦してもよいかもしれません。(長濱)

